

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2024.03.17)

文：武田(写真も)：写真；黒山

日時：2024(令和6)年3月17日(日) 9:30～12:30

気象：曇→雨

活動エリア：45 林班に-03

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ(里山林保全;倒木処理、過密広葉樹間伐・林床整備)

参加者(会員) 斧田一陽、大本孝子、倉谷邦男、黒山泰弘、佐々木一雄、武田壽夫、田畑宏司、宮本 廣
会員 8名

<今日は彼岸の入り>

彼岸サクラの開花が近いが「45 林班に-03」には山サクラが多く見られる。但し、まだ蕾固し。そこで写真は奈良公園の彼岸サクラ(左)。

さて、森林づくりが目指すのは陽射しが届き、林相清々しい森の佇まい。今日も勇躍支度して小屋を出るが、午後雨の天気予報通り、昼食中に雨が降りだし、早々に作業を終り撤収。



奈良公園の彼岸サクラ

エピソード二題

- ・負傷欠場中の宮本会員が復帰。山での「ぜんざい」など、食の話題ひとしきり。(右写真)
- ・小屋に帰ってみると親子連れのハイカーに会う。作業台をテーブルに昼食休憩か？。



伊勢の赤福善哉

(世間話)台風で谷一面の杉が倒れた一帯に植林がされたことは既報だが、あの谷は麓の神峯山寺さんが買われたそうな(箕面森林官の話、先々の様子が楽しみ)

<今日の成果>

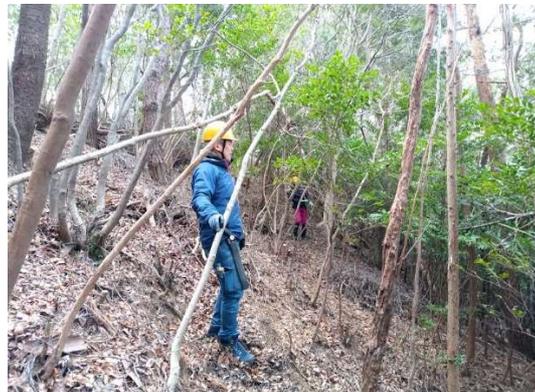
林床整備は 10×10m+20×30m、枯損木や倒木は 10 十本以上を整理。広葉樹の間伐は多数。サクラを痛めぬよう近傍の枯損木処理は慎重に。また、一帯には松の枯損木が目立ち、白テープ巻き。山道に倒れそうな危険木は赤テープ巻で処理は林野さん委託のプロにお任せ。

<写真編①>

<作業前>



<どこから手をつける？>



<写真編②>

<作業後の緩斜面>



<樹冠部の絡まり具合により倒す方向を考える>



<枝掛かりに注意して>



<引き倒すのも一苦労>



<枯松の処理>



<左の処理後>



<日本山岳会関西支部 自然保護委員会からのお知らせ>

委員の自然観察会 ヤブデマリ群生地観察

・2024年5月5日、JR 武田尾駅集合(9:00)

申込者にはコース等詳細を後日連絡、雨天中止は前日連絡

・行き先：武田尾 大峰山山麓の廃止林道(群生地)

・持ち物：弁当、飲み物、ストック、他

・申し込み先：久保和恵 ☎090-2598-9226

e-mail Kashima-jyonen21skk@docomo.ne.jp

